



高木 超(たかぎ・こすも)

- ▶ 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任助教
- ▶ 国連大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット リサーチ・アソシエイト

1986 年東京都生まれ。NPO 等を経て、2012 年から神奈川県大和市役所の職員として住民協働等を担当。17 年 9 月に退職し、渡米。クレアモント評価センター・ニューヨークの研究生として「自治体における SDGs のローカライズ」に関する研究を行うほか、国連訓練調査研究所 (UNITAR) とクレアモント大学院大学が共催する「SDGs と評価に関するリーダーシップ研修」を修了。19 年 4 月から現職(国連大学は同年 9 月着任)。内閣府地域活性化伝道師、鎌倉市 SDGs 推進アドバイザー、亀岡市参与(SDGs アドバイザー)、川崎市 SDGs 推進アドバイザー、能登 SDGs ラボ連携研究員。そのほか、ミレニアル世代・Z 世代で SDGs を推進する団体「SDGs-SWY」を創設し、2021 年 3 月まで共同代表。著書に『SDGs×自治体 実践ガイドブック 現場で活かせる知識と手法』(学芸出版社)『まちの未来を描く！自治体の SDGs』(学陽書房)。日本評価学会認定評価士。